

可愛いワンコの温もりに患者さんの心もほっこり

寒さが一段と身に沁みるようになった11月28日(水)午後2時、JAHHAの獣医師さんと飼い主さん8人に連れられて、ワンちゃん6頭がセンターを訪問。2階から6



階の病棟と緩和センターを3チームに分かれて巡回し、患者さんとの触れあいの時間を過ごしてくれました。

トナカイの帽子をかぶってクリスマス気分を演出したミニチュアダックスのサンちゃんやコムギちゃん、

ゆったりかまえたラブラドルのビリーくん、ミックス犬の希助くん、シーザーのコロンちゃん、狆の虎丸くんの6頭は、いずれも訓練されていて初めて会った患者さんの腕の中で大人しく抱かれていました。以前に大型犬を飼っていたという患者さんは、虎丸くんを抱っこしながら「あったかいね～」と一言。緩和の患者さんのお部屋では、ベッドにのったワンちゃんを撫でながら「とても楽しみにしていたの、家で飼いたかったけど無理だったので。すごい気持ちがいいわね。また来てね」と酸素マスクの下でお話しも弾みます。ワンコに会うために車椅子に乗ろう、とご自分で立ち上がった患者さんにびっくりされた付添いのご家族もいらっしゃいました。

患者さんたちの期待に見事に応えてくれたワンちゃんたち、お疲れさまでした。淑徳大学のボランティア・カラーカラーズ5人も参加して、ワンちゃんたちの毛のお掃除や移動のお手伝いに大活躍でした。

